

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産及び無形固定資産・・・定額法による減価償却を行っている。
- (2) 引当金計上基準  
退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金(基本財産)	241,200,000	0	0	241,200,000
小計	241,200,000	0	0	241,200,000
特定資産				
特定費用準備資金(特)	0	2,300,000	0	2,300,000
退職給付引当資産	73,989,586	4,861,300	2,841,300	76,009,586
小計	73,989,586	7,161,300	2,841,300	78,309,586
合計	315,189,586	7,161,300	2,841,300	319,509,586

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金(基本財産)	241,200,000	—	(241,200,000)	—
小計	241,200,000	—	(241,200,000)	—
特定資産				
特定費用準備資金(特)	2,300,000	—	(2,300,000)	—
退職給付引当資産	76,009,586	—	—	(76,009,586)
小計	78,309,586	—	(2,300,000)	(76,009,586)
合計	319,509,586	—	(243,500,000)	(76,009,586)

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	2,230,356	1,623,965	606,391
建物附属設備	126,000	125,999	1
什器備品	7,038,715	5,381,241	1,657,474
館蔵美術品	14,075,000	0	14,075,000
合計	23,470,071	7,131,205	16,338,866

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	20,180,055	0	20,180,055
前払金	39,710		39,710
立替金	4,000	0	4,000
合計	20,223,765	0	20,223,765

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
国庫補助金	文化庁長官	0	9,055,445	9,055,445	0	—
地方公共団体補助金	出雲市	0	21,000,000	21,000,000	0	—
民間補助金	公益財団法人 エネルギー・文化スポーツ財団	0	100,000	100,000	0	—
助成金						
出雲市文化協会助成金	一般社団法人出雲市文化協会	0	100,000	100,000	0	—
協賛金	実践桜会島根支部	0	50,000	50,000	0	—
合計		0	30,305,445	30,305,445	0	